

第67号 2019年 6月 1日

発行所／神山復生病院 〒412-0033御殿場市神山109 (Tel) 0550-87-0004 (Fax) 0550-87-5360

(E-mail) info@fukusei.jp (ホームページ) <http://www.fukusei.jp/>



《 理 念 》

神山復生病院は キリストの愛に基づいて 病める人も健やかな人も 神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら 一人ひとりの命を大切にし 希望をもって医療と福祉に献身します

《 基本方針 》

- 1 患者様本位の医療
患者様一人ひとりの生活を重視し、地域のニーズに応えるサービスを提供します
- 2 職員の人材育成
優れた人材を育成するため、研修を充実し、専門・認定資格の取得を支援します
- 3 経営の安定化
病床利用率を高め、病院の経営状態を安定化します
- 4 地域包括ケアシステム構築への貢献
介護医療院と在宅事業部との連携を密にし、在宅医療・福祉に貢献します



神山復生病院ホスピスから ー令和を迎えてー

診療部長 平田敦子

ホスピスの中庭の薔薇がきれいに咲いています。サーモンピンクの優しい薔薇を眺めているとほっと癒されます。ホスピス病棟が平成14年に開設されてから、17年経ちました。

「令和」を迎えて、あらためてホスピスの変わったこと、変わらないことを振り返ってみたいと思います。まず、緊急入院が増えました。緩和ケア外来に通院中もしくは訪問診療を受けている患者様の状態が悪化した時は、以前はなかなか入院できないことがありましたが今は、御本人、御家族が希望されれば入院できるようになりました。いったん入院した後、在宅療養する方も少しずつですが増えました。訪問看護ステーションや施設との関わりも当法人内外を問わず深まっています。

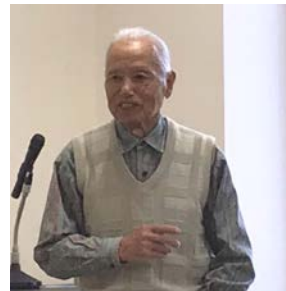
診療報酬制度が変わる中、長期間ホスピスにいていただくことは難しくなりましたが、「ここに来てほっとした」「ここのご飯は美味しいわね」と言われる患者さんの笑顔は宝物です。病院の理念と伝統を大切に、患者様に寄り添おうとする精神は変わりません。患者様、御家族が何を求めておられるのか、どうしたらその声に応えていけるのか、これからもホスピス病棟のスタッフだけでなく、病院のスタッフ、訪問看護ステーション「マリア」や小規模多機能介護施設「マリアの家」のスタッフと一緒に模索し、チャレンジしていきます。



ボランティアの皆様ありがとうございます

事務部 森田秀一郎

平成 31 年 4 月 23 日にボランティア懇親会を開催しました。懇親会では、前年度の活動報告を行いました。平成 30 年度は延べ人数で 699 名の方に、抹茶サロン、尺八演奏会、音楽コンサート、アロママッサージ、読み聞かせ、美容カット、犬のボランティア等様々な活動を行っていただきました。また、今回の懇親会でも、当院で 10 年以上ボランティア活動をしていただいた 4 名の方に感謝状を授与いたしました。その後の意見交換会でもボランティアの皆様から多くの貴重なご意見をいただきましたので、今後に生かしていきたいと思います。ボランティアの皆様、本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。



深石猛男様 (車椅子点検)



芹澤輝代様 (読み聞かせ)



新規入職者祝福式

看護部長 杉山美貴子

令和元年 5 月の職員会議において、昨年度の祝福式以降に入職されました、神山復生会職員 14 名の祝福式を執り行いました。この式は昨年度より、病院の創立記念日である 5 月 16 日に開催することとし、取り組み始めた行事です。これまでの神山復生会は、事業体は病院のみで、職員の数も少なく、新卒の看護師さんが入職されることは、ほぼありませんでした。しかし、時代の流れと共に病院以外の事業も始まり、職員数もかなり増えてきております。そこで、入職して下さった皆さんに、復生会の職員となったことを自覚していただき、これまで以上の大きな祝福が訪れ、守られていくようにとの願いを込めて、神父様に祈って頂いた「奇跡のメダイ」をプレゼントすることにしたのです。新卒の看護師さんは今年 1 名でしたが、これまで新卒で入職して下さった皆さんは、ずっと復生会で働いて下さっています。

新元号となった今年は、神山復生病院創立 130 周年の年でもあります。新しい時代の幕開けを、これまでご尽力いただいている職員と共に、新規入職の職員が復生会の理念に向かって協働していけるよう、奇跡のメダイが守って下さることを信じ、職員一同頑張っていこうと思います。



メダイの説明をするシスター徳永



新入職員に手渡されました





「お喜楽カフェオープンしました」



看護部長 杉山美貴子

神山復生会は、たくさんのボランティアの方々に支えられて運営されておりますが、この度、新しいボランティアの方が3名登録して下さいました。そこで以前、シスターが職員のみんを癒すために、と開いてくださった「気まぐれカフェ」を引き継ぐ形で、ボランティアの方のお力をお借りして、「お喜楽カフェ」をオープンすることにしました。

今回は職員のみならず、患者様や利用者様、またご家族様も含め、みなさんに「ホッと一息」ついていただきたく、準備を進めました。メニューはコーヒー・紅茶・緑茶、そして一押しのメロンクリームソーダとなります。毎月第4土曜日、12:30～13:30の1時間程度ですが、お喜楽に、お立ち寄り下さい。5月25日（土）のお客様第1号は、病院長先生と内科外来担当の中尾先生でした。そのあと続いて、外来の職員さんやホスピスの職員さん、そして介護医療院の利用者様やご家族様、かわいい面会者の方々・・・大盛況に終わりました。6月もオープン予定ですので、お楽しみに！！



「岩下壮一特別展」がはじまりました



記念館 森下裕子



5月13日より復生記念館別館にて「岩下壮一特別展」を行っています。病院6代目院長岩下壮一神父の生誕130年を記念して開催しているもので、復生に残る遺品や写真、岩下家ゆかりの品々を展示しています。岩下院長は、病院の近代化を進め数多くの病院改革を行いました。その一端を皆様感じて頂けたら幸いです。

また、岩下壮一神父は日本のカトリックを代表する神学者・哲学者と言われています。亡くなって78年がたちますが、近年著作物が再販されるなど、今でも多くの方に影響を与えています。

皆様のお越しをお待ちしております。

今回のおすすめ

《こーひー問屋 アラビカコーヒー》



今回は、世界中のコーヒーや高級茶葉が、手頃な価格で楽しめるお店を紹介します。富士店、三島店、沼津店、御殿場店と静岡県の一部に4店舗展開しており、中でも御殿場店は昨年10月に移転して、喫茶スペースが増え、美味しいケーキも楽しめます。

コーヒーや茶葉以外にも、クッキーや様々なお菓子が揃っていて、無料のサービスコーヒーをいただきながら、店内を見るだけでも楽しくなります。ぜひ一度、足を運んでみてください。

（紹介者 事務部 後藤和也）



外 来 担 当 表

心療内科、緩和ケア外来は予約制



	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科(平田) 心療内科(飛澤)	内科(平田)	内科 (平田・江藤)	内科 (平田・江藤)	内科(江藤) 心療内科(飛澤)	内科 (第2・5 岡部) (第1・3・4 中尾) 心療内科(飛澤) 皮膚科	休 診
午 後	休 診	休 診	休 診	緩和ケア外来 (平田)	休 診	休 診	

※ 2月より毎週土曜日の内科外来を行っております。皆様ご利用下さい。

※ 特定健診を行っています。(月曜～金曜)ご希望の方は、受付・外来までご相談下さい。

皮膚科外来予定表



太田 有史 医師	診察日	6 / 1	・	7 / 6	・	8 / 3
白井 暁子 医師	診察日	6 / 15	・	7 / 13	・	8 / 10
		6 / 29	・	7 / 20	・	8 / 17
石地 尚興 医師	診察日	6 / 8	・	7 / 27	・	8 / 24
		6 / 22	・	7 / 27	・	8 / 24

都合等により、休診や代診の場合があります。お電話でお問い合わせのうえご来院下さい。

復生記念館保存・普及推進委員会開催



復生記念館保存・普及推進委員会が5月11日(土)に14名の委員の方々に参加いただき行われました。今年では病院創立130年ということで、記念行事として6月から行われる映画上映会の試写を行いました。生き生きと映しだされる当時の患者さんや職員の姿に皆さん心打たれた様子でした。「復生病院の患者さんに対する姿勢を見ることができる、是非多くの方にご覧いただきたい」との感想を頂きました。そして、昨年度1098人の見学があり、平成16年開館からの累計で17600人の方々にお越しいただきましたこと、その他に昨年度行った特別展「復生での生活一生きた証」展には約100人の来館があったことが報告されました。これからの復生記念館に対する委員の皆様の活発な意見をいただき、今後の活動に活かしていきたいと思ひます。



委員長の阿部志郎先生、委員の紀伊國献三先生



委員の皆様

(記念館 森下裕子)

編集後記



まもなく梅雨の時期に入りますね。洗濯物が乾かない時期・ジメジメしている時期などマイナスのイメージを浮かべやすいですが、農作物や自然の木々にとっては恵の時期です。

私も雨の音を楽しめるような、心にゆとりがある日々を過ごしていきたいと願ひます。

次号は、暑い？夏の季節に発行です。お楽しみに～

